

血液内科に、過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名]

自己免疫性疾患患者に発症するリンパ増殖性疾患の病態解明と治療効果予測因子の同定

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属]

畑中 佳奈子 (ゲノム・コンパニオン診断寄附研究部門・特任講師)

[研究の目的]

自己免疫性疾患患者に発症するリンパ増殖性疾患の病態を明らかにするため。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

自己免疫性疾患関連リンパ増殖性疾患の患者さんで、平成 15 年 1 月 1 日から平成 28 年 7 月 31 日の間に、手術が施行された方。

○利用する検体・カルテ情報

検体：手術によって切除され、その後標本作製のための処理をしたリンパ節を始めとする全身諸臓器の組織（ホルマリン固定し、その後パラフィン（いわゆるロウ）に埋めた組織）の一部。

ご提供いただく検体を用いてタンパク質、遺伝子の発現等、特定の分子の状態を調べ、診療情報と合わせてリンパ増殖性疾患の特徴や性質を検討します。

カルテ情報：

- ① 生年月日、診断時年齢、性別、基礎疾患、基礎疾患発症日
- ② 基礎疾患治療内容と期間
- ③ リンパ増殖性疾患について
 - ・ 病理診断名、発症日、診断日、診断医療機関、生検部位、病変部位、臨床病期、B 症状の有無、PS
 - ・ 病理組織像、免疫染色結果
 - ・ 染色体異常、表面マーカー、FISH、遺伝子再構成
 - ・ 発症時検査所見：白血球数、リンパ球 (%)、CD4 (%)、LDH、可溶性 IL-2 レセプター、EBV 抗体価、EBV-DNA

- ・ 治療内容と治療効果
- ・ 最終転帰と転帰確認日（亡くなられた方では亡くなられた日）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 ゲノム・コンパニオン診断寄附研究部門 畑中 佳奈子

電話 011-706-5716 FAX 011-707-5116